

令和5年度第3回 寝屋川市男女共同参画審議会 議事要旨

日時：令和5年11月14日(火)午前10時～12時00分

場所：寝屋川市役所議会棟4階
第一委員会室

出席委員：大束委員長、藤田副委員長、森川委員、古田委員、武田委員、榎並委員、下田委員、
蔵本委員、鈴木委員、横藤田委員、百井委員 計11名

欠席委員：加来委員、濱田委員

事務局（担当課）：危機管理部 人権・男女共同参画課

傍聴：0人

1. 男女共同参画審議会委員長及び副委員長の選出
委員長を大束委員、副委員長を藤田委員に任命
2. 「第5期ねやがわ男女共同参画プラン」について
グループ討議で審議（審議内容：課題1. 政策・方針決定過程への女性の参画推進）

【Aグループ】（大束委員長、武田委員、下田委員、蔵本委員、鈴木委員、百井委員）

①施策の方向と具体的取組 (1)市の政策・方針決定過程への女性の参画推進

主な意見

- ・ 充て職を長に限らない
- ・ 複数名の推薦
- ・ 公募委員枠を増やす
- ・ 推薦の際に女性を推薦してもらえないかという声掛け
- ・ ヒアリング内容の共有・周知
- ・ 女性が参加するためのサポート体制の強化
- ・ 女性委員の登用比率が向上しない理由を突き詰める
- ・ 公募委員の募集における周知方法の改善

②施策の方向と具体的取組 (2)女性職員の管理職登用の推進

主な意見

- ・ 女性に対し、ヒアリングや無記名でアンケートを行う
- ・ 女性が管理職に就任したいと思える環境整備
- ・ 女性が活動しやすくするために、男性の育児休暇の取得促進
- ・ 入庁年度で対象が決められている研修以外は、若い女性の参加の推進を図る

③施策の方向と具体的取組 (3)女性の能力開発とリーダー育成

主な意見

- ・ 他課との連携
- ・ 周知方法の工夫
- ・ 講座のオンライン開催
- ・ 講座のアンケートの公表
- ・ ふらっと ねやがわ以外での講座
- ・ 1・2回の講座ではなく、もっと掘り下げて講座を行う

【Bグループ】（藤田副委員長、森川委員、古田委員、榎並委員、横藤田委員）

①施策の方向と具体的取組 (1)市の政策・方針決定過程への女性の参画推進

主な意見

- ・ 充て職を長に限らない
- ・ 全庁一体となって女性委員の登用比率をあげるよう機運醸成
- ・ 女性も参加しやすいよう、会議の時間の変更を行う
- ・ 女性委員の登用比率が目標値からはみ出ている理由を明確にする
- ・ 人事室主催の研修のような入庁年度で対象が決められている研修以外は、若い女性の参加の推進を図る

②施策の方向と具体的取組 (2)女性職員の管理職登用の推進

主な意見

- ・ 目標設定の際の分析

- ・女性職員へのアンケート
- ・女性職員の就任を増やす
- ・登用試験を受けない理由の分析
- ・女性管理職と推進区分の制度の見直し
- ・研修をオンラインでも受講できるようにする
- ・360度評価などを取り入れる

③施策の方向と具体的取組 (3)女性の能力開発とリーダー育成

主な意見

- ・講座等のオンライン開催、アーカイブ配信
- ・講座等の周知方法の工夫
- ・講座等のアンケートや講座の様子などを写真付きで広報やHPに掲載
- ・大学生の授業内で1回、審議会の傍聴を入れる
- ・職員が業務内で講座に参加する
- ・チラシをターゲット層に個別に配る

<まとめ>

- ・「課題1. 政策・方針決定過程への女性の参画推進」に含まれる3つの施策のうち、各グループ1項目を発表

【Aグループ】発表項目→施策の方向と具体的取組 (1)市の政策・方針決定過程への女性の参画推進

まず疑問、方法、充て職、公募、サポートといった4つの観点で議論した。

疑問の内容を簡単に紹介する。例えば、ヒアリング調査につきまして、それに対してどのようにヒアリングを行っているのか、どのくらい時間をかけているのか、どういう内容をしているのかといったこと、それにまつわる結果というものを開示するべきだという意見となりました。

次に、充て職について、選出方法について話し合い、例えば充て職について1人推薦をするようにしたところ、男性が推薦されてしまうという問題があるので、2人以上推薦するように依頼を行えば、男女ともに推薦される可能性が高くなるのではないかと、推薦方法などを工夫することで、男女共同参画を図っていくべきであるという意見となった。

次に、公募について、公募委員を増やすためにはどのように働きかけていけばよいのか、どのように当事者に対して広報を行うのか、やってみたいと思える広報といったものを具体的に考え、周知していかなければならないという意見となった。

最後に、サポートとしては、女性参画について長期的に続けていけるサポートといったものを考えていかなければならないという意見となった。

これらの疑問、充て職、公募、サポートの4つの観点を関係課、関係機関が共有していくことが一番大切であるという結論で議論を終えた。

【Bグループ】発表項目→施策の方向と具体的取組 (3)女性の能力開発とリーダー育成

ふらっと 市民セミナーについて、参加者が少ないというところを改善していかなければならないという点で、具体的には広報の仕方を改善する必要があると。広報ねやがわでふらっと 市民セミナーについて掲載されているが、具体的に来てほしい方たちに刺さっているのか。やはり抽象的にこういったセミナーがあります、来てくださいと言うだけではなかなか来てほしい人には届かないのではないかなと思う。例えば、広報の段階で、三～四十代の女性に来てほしいというところであれば、保育園なり幼稚園、そのような施設にチラシを配布するというのが具体的に考えられる改善策ではないかなと思う。また、対面式の講座となると、時間的に行きたくてもハードルが高い、そうするとどんどん興味もなくなっていくというところがあるので、ウェブ開催であったり、見逃し配信みたいなことを行い、いろいろな人が気軽に参加できる、そういった中で、参加した方からどんどん、あれ面白かったよ、という形で広がっていくということがあるのではないかな。開催後の感想やアンケート内容を広報やホームページに掲載するなど、キャッチーな感じで楽しいよと、やはり楽しくない真面目なものはなかなか人が集まりにくいというところがあるので、いかに楽しく皆が参加したいと思える形で見せていくかという観点も大事なのではないかなという意見となった。

3. 「その他」

連絡事項